

## いつまでも 心に残る 思い出を！ ～ふれあいの船 北海道体験学習～

市内の小学6年生を対象とした「ふれあいの船」がA班（7月21日～25日）129人、B班（7月27日～31日）142人で実施されました。5日間の行程の中で、児童たちは友人たちと共同生活をする中で、協力することの大切さを学ぶと共に、夕張市の皆さんや北海道の大地で自然と触れ合い、普段の生活では味わえない貴重な体験をしてきました。

### 【1日目】 新造船に乗り大洗港から北海道を目指し出航！

西部総合公園体育館で出発式を行った後、大洗港からフェリーに乗り込み出発です。

初めての船旅、そして保護者と5日間離れての生活に不安を感じながらも、元気よく「行ってきます！」と手を振り出発しました。

### 【2日目】 約18時間後に北海道到着！

船内では、ブリッジ（操舵室）を特別に見学させてもらいました。船長や船員たちから、船に関わる機械などの説明を受けることができました。

船旅を終え、最初に向かったえこりん村では、ギネスに認定された、世界一大きなトマトの木を見学。その他たくさんの動物にも出会いました。夕張市に到着すると、夕張市で人気のマスコットキャラクター、メロン熊の歓迎もあり、児童たちも大興奮でした。



▲視界良好！

▶憧れの操舵室



▲実際に坑道に入りました！

### 【3日目】 夕張市内で体験活動や夕張市の皆さんと交流

夕張メロンを使用したジャム作りや、クレイアニメ制作など、どれも初めての体験でしたが、友だちと協力して進めることができました。また、夕張市の発展の要となった炭坑について、ガイドさんの解説を聞きながらその歴史などを学びました。

夕張市の皆さんとのふれあいタイムでは、たくさんの質問をして、さまざまなお話を聞かせてもらいました。常陸大宮市との違いや共通点などを発見し、夕張市をより身近に感じられたようです。



▲クレイアニメ作成を体験

### 【4日目】 北海道最終日 札幌市内班別行動・アイヌ民族博物館見学

午前、札幌市内を班別で行動しました。ボランティアガイドさんの解説のもと、市内の名所等を案内してもらいました。

午後は、アイヌ民族博物館で伝統の舞踊や楽器（ムックリ）の演奏を体験し、アイヌ民族の文化を学びました。夕方、北海道のたくさんの思い出を抱えて、帰りのフェリーに乗り込みます。

### 【5日目】 大洗港到着～常陸大宮市で解散式

船酔いをした児童もいましたが、みんなで助け合い乗り越え、下船。5日間で仲間との絆も生まれました。

解散式後には、お世話になった引率の方達にみんなで感謝を伝えました。児童達は、たくさんのお土産（思い出）を持ち帰ることができたようです。



▲5日間で学んだことを報告